

# アナログカメラ

ICVD-T114-2M

## GUI 説明書

取説 Ver. 0.02



### <おことわり>

- この GUI 説明書は、発行時点で弊社が販売している アナログカメラに関する記述を含んでおります。従いましてお客様が購入された機種には存在しないメニューの説明が含まれている場合があります。また、この説明書が発行された後に追加された機能が含まれていない場合があります。
- 設定メニュー内の項目やその選択肢及び初期設定値は、TVI 2M Pixel (1080p) 30FPS フォーマットの場合のものです。
- この GUI 説明書は紙面の都合上、映像技術・テレビジョン技術・照明技術・電子技術等、関連技術に関する一定程度の基礎知識を有するカメラ設置技術者を対象として記述しております。

- この度は、AHD / TVI カメラをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用前に、この GUI 説明書をお読みいただき、製品の機能や操作法について、十分ご理解いただいた上で、正しく使用していただきますよう、お願い致します。

# 目次

1. 凡例.....	4
1.1. メニュー項目の図に使用する記号と表記法.....	4
2. 基本操作.....	4
2.1. ビデオフォーマット・ビデオモードの切換え.....	5
3. UTC 操作.....	5
3.1. DVR からの操作.....	5
3.2. NETUS-PRO からの操作.....	7
3.3. VMS からの操作.....	8
4. セットアップメニュー.....	9
4.1. メインメニュー.....	9
4.1.1. 露出 (メインメニュー⇒露出).....	11
4.1.2. BACKLIGHT (メインメニュー⇒BACKLIGHT).....	13
4.1.3. DAY&NIGHT (メインメニュー⇒DAY&NIGHT).....	16
4.1.4. NR (メインメニュー⇒NR).....	18
4.1.5. スペシャル機能 (メインメニュー⇒スペシャル機能).....	18
4.1.6. 調整 (メインメニュー⇒調整).....	23
4.1.7. AF (メインメニュー⇒AF).....	25
5. 仕様.....	27

## 警告

### カメラには定期点検が必要です。

点検は、技術のあるサービスマンが行ってください。

### 故障を発見したら、直ちにカメラの使用を止めてください。

カメラから煙が出たり、高温になっていたりする場合は、火災の危険性があります。

### 頑丈な場所に取り付けてください。

カメラを天井や壁面等に取り付ける際には、落下防止のため頑丈な下地のある部分に設置してください。

### 安全な場所に取り付けてください。

カメラは、歩行者や自転車等が接触しない安全な場所に取り付けてください。

### カメラを分解しないでください。

火災や感電の危険性があります。

### 濡れた手で取り扱わないでください。

感電の危険性があります。

### ガスや油漏れのあるところでカメラを使用しないでください。

火災等の危険性があります。

## 注意

### 極端な温度条件の場所にカメラを設置しないでください。

カメラは-10～50℃の温度範囲でご使用ください。特に高温になる場所では換気に注意してください。

### 湿度の高い環境でカメラを設置及び使用しないでください。

画質が悪くなることがあります。

### 不安定な照明条件の場所にカメラを設置しないでください。

断続的に変化する照明やチラつきのある照明は、カメラの動作を不安定にすることがあります。

### カメラの対物レンズに手を触れないでください。

カメラで最も重要な部品の一つです。指紋で汚さないようご注意ください。

### カメラを落としたり衝撃を与えたりしないでください。

故障することがあります。

### カメラの正面に強い光を当て続けしないでください。

C-MOS センサーを傷めることがあります。

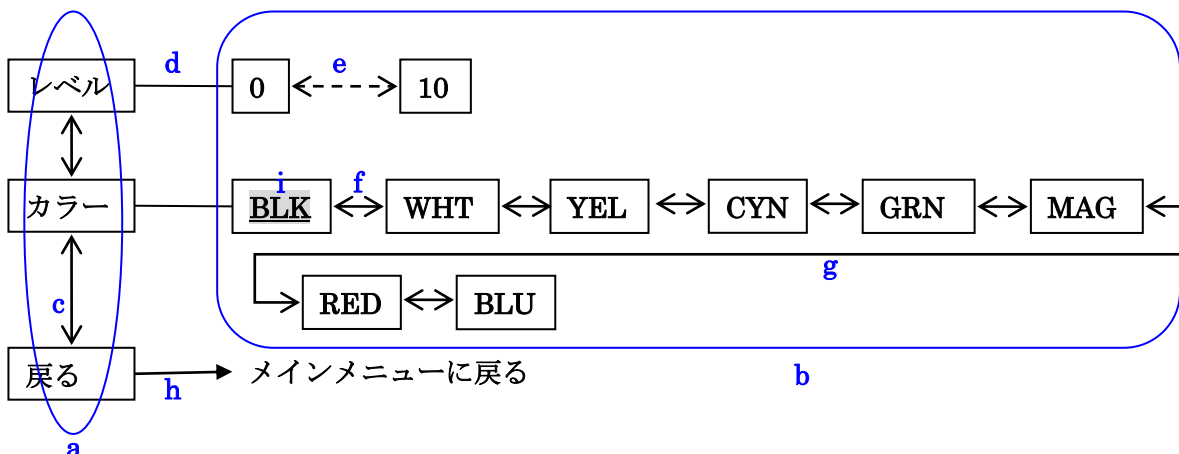
### 正しい電圧と極性の電源をご使用ください。

カメラの電源電圧と極性は、本体の表示に従って正しく接続してください。動作電圧範囲は特に表示がない場合、定格電圧±15%（DC12V のカメラの場合 10.2～13.8V）です。配線距離が長い場合には、電線の導体抵抗による電圧降下にもご注意ください。

## 1. 凡例

### 1.1. メニュー項目の図に使用する記号と表記法

OSD メニューの図に使用する線と矢印等には次のような意味があります。



- “a” の丸で囲った部分の四角い枠内には各メニューの項目名を示します。
- “b” の四角で囲った部分の枠内には各項目で選択可能な選択肢または調整範囲を示します。
- “c” の縦矢印は上下ボタンで選択項目を移動出来ることを示します。
- “d” の横直線は、その左側が項目名で右側がその項目の調整範囲または選択肢であることを示します。
- “e” の点線横矢印は、その項目が調整項目であることを意味し、その両側が調整範囲の下限と上限を示します。
- “f” の左右矢印は、その項目が選択項目であることを意味し、その両側が選択肢であることを示します。また、紙面の都合で1行に収まらない場合は“g”の迂回矢印で続きを次の行に記述します。
- “h” の三角矢印は、その向きに関係なく「アイリス開」ボタンを押すことで、矢印の先に記述された項目にジャンプすることまたは、コマンドを実行することを示します。
- “i” の強調表示はカメラをリセットした場合の初期設定値であることを示します。

## 2. 基本操作

カメラの OSD メニュー操作は、UTC 制御による遠隔操作で行います。

制御を実行するには、DVR の PTZ 設定が UTC 制御のために適切に設定されている必要があります。

DVR 等で UTC 制御を行うためには、DVR 等の設定が適切に行われている必要があります。弊社製の IRV-HV8000, AT6000N, A7000Nv2 シリーズでは PTZ 設定をして、PTZ 操作のユーザーインターフェースを使用します。

## 2.1. ビデオフォーマット・ビデオモードの切換え

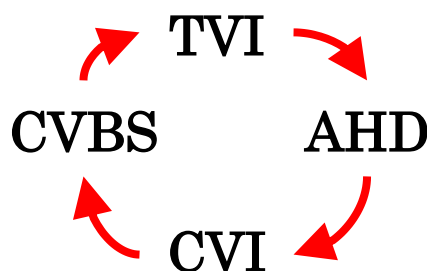
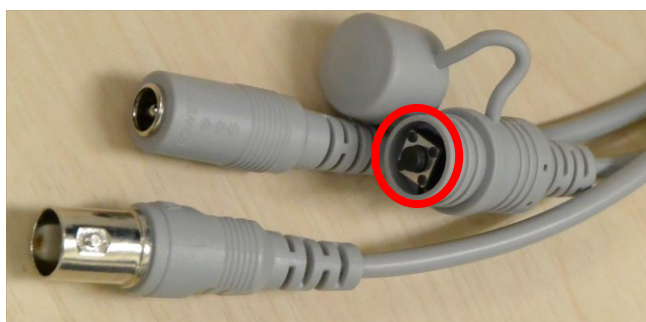
本機はビデオフォーマットを AHD, TVI, CVI 及び CVBS から選択出来、さらにビデオモードを NTSC (垂直周波数=60 / 30Hz) と PAL (垂直周波数=50 / 25Hz) から選択できます。

従って、これらの組み合わせは全部で 8 種類存在します。

ビデオモード	ビデオフォーマット	解像度	垂直周波数
NTSC	AHD	1080p	30Hz
	TVI		
	CVI	480i	60Hz
	CVBS		
PAL	AHD		25Hz
	TVI		
	CVI	576i	50Hz
	CVBS		

本機のビデオフォーマットとビデオモードはメニュー操作で切り替えます。メニューで切り替える場合の詳細は「[4.1.6 調整 \(メインメニュー⇒調整\)](#)」を参照してください。 参照→23 ページ

また、ビデオフォーマットはケーブルハーネスのボタンで切り換える事も出来、その場合はケーブルハーネスのボタンを 5 秒間押し続ける毎に図のような順に切り換わります。



ビデオモードはケーブルハーネスのボタンで切り換える事は出来ません。

## 3. UTC 操作

本機は、弊社の IRV シリーズの DVR (IRV-SD1 を除く) からメニューの遠隔操作が出来ます。DVR から UTC 制御が出来るようにするには、DVR で UTC 制御が可能な状態に設定していただく必要があります。詳しくは DVR の設置取扱説明書をご覧ください。

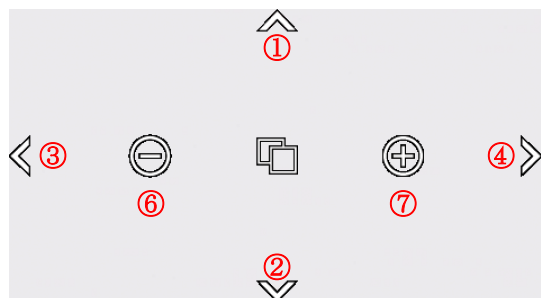
本機で利用可能なプロトコルは「COAX OSD」です。

### < 注 意 >

- カメラと DVR の間に UTC 非対応機器が接続されている場合、UTC 制御は利用できません。

### 3.1. DVR からの操作

DVR の場合、PTZ 操作には次のボタンを使用します。



簡易操作画面

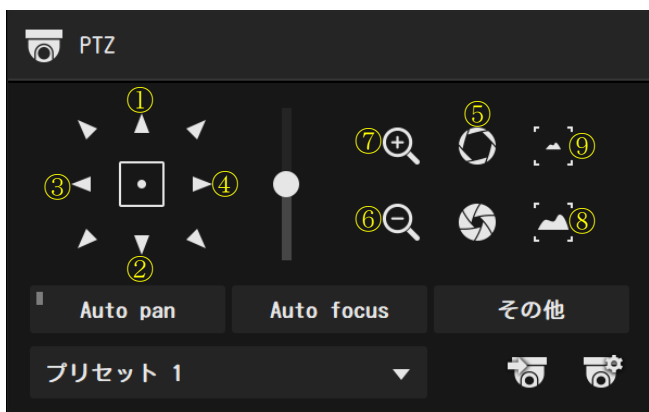


詳細操作画面

番号	ボタン	備考
①	▲(上)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
②	▼(下)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
③	◀(左)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
④	▶(右)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
⑤	アイリス開	アイリス開は <b>SET</b> として機能します。
⑥	ズーム -	ズームをワイド（広角）方向に動かします。
⑦	ズーム +	ズームをテレ（望遠）方向に動かします。
⑧	フォーカス 近	フォーカスを近くに動かします。
⑨	フォーカス 遠	フォーカスを遠くに動かします。

### 3.2. NETUS-Pro からの操作

NETUS-Pro の PTZ 操作の次のボタンが OSD ノブの操作に対応します。



番号	ボタン	備考
①	▲(上)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
②	▼(下)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
③	◀(左)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
④	▶(右)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
⑤	アイリス開	アイリス開は <b>SET</b> として機能します。
⑥	ズーム -	ズームをワイド（広角）方向に動かします。
⑦	ズーム +	ズームをテレ（望遠）方向に動かします。
⑧	フォーカス 近	フォーカスを近くに動かします。
⑨	フォーカス 遠	フォーカスを遠くに動かします。

< 注 意 >

- ネットワーク経由の UTC 制御は、通信事情により遅延が発生する場合があります。操作してから表示が変化するまでに時間がかかる場合は、1 回毎に表示の変化を確認しながらゆっくり操作してください。
- ネットワーク経由の UTC 制御は、通信事情により命令が到達しない場合があります。
- P2P 接続の場合、UTC 制御はご利用いただけません。

### 3.3. VMS からの操作

VMS の PTZ 操作の次のボタンが OSD ノブの操作に対応します。



番号	ボタン	備考
①	▲(上)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
②	▼(下)	メニュー内でのみ利用可能です。ズーム操作には利用できません。
③	◀(左)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
④	▶(右)	メニュー内でのみ利用可能です。フォーカス操作には利用できません。
⑤	アイリス開	アイリス開は <b>SET</b> として機能します。
⑥	ズーム -	ズームをワイド（広角）方向に動かします。
⑦	ズーム +	ズームをテレ（望遠）方向に動かします。
⑧	フォーカス 近	フォーカスを近くに動かします。
⑨	フォーカス 遠	フォーカスを遠くに動かします。

#### < 注 意 >

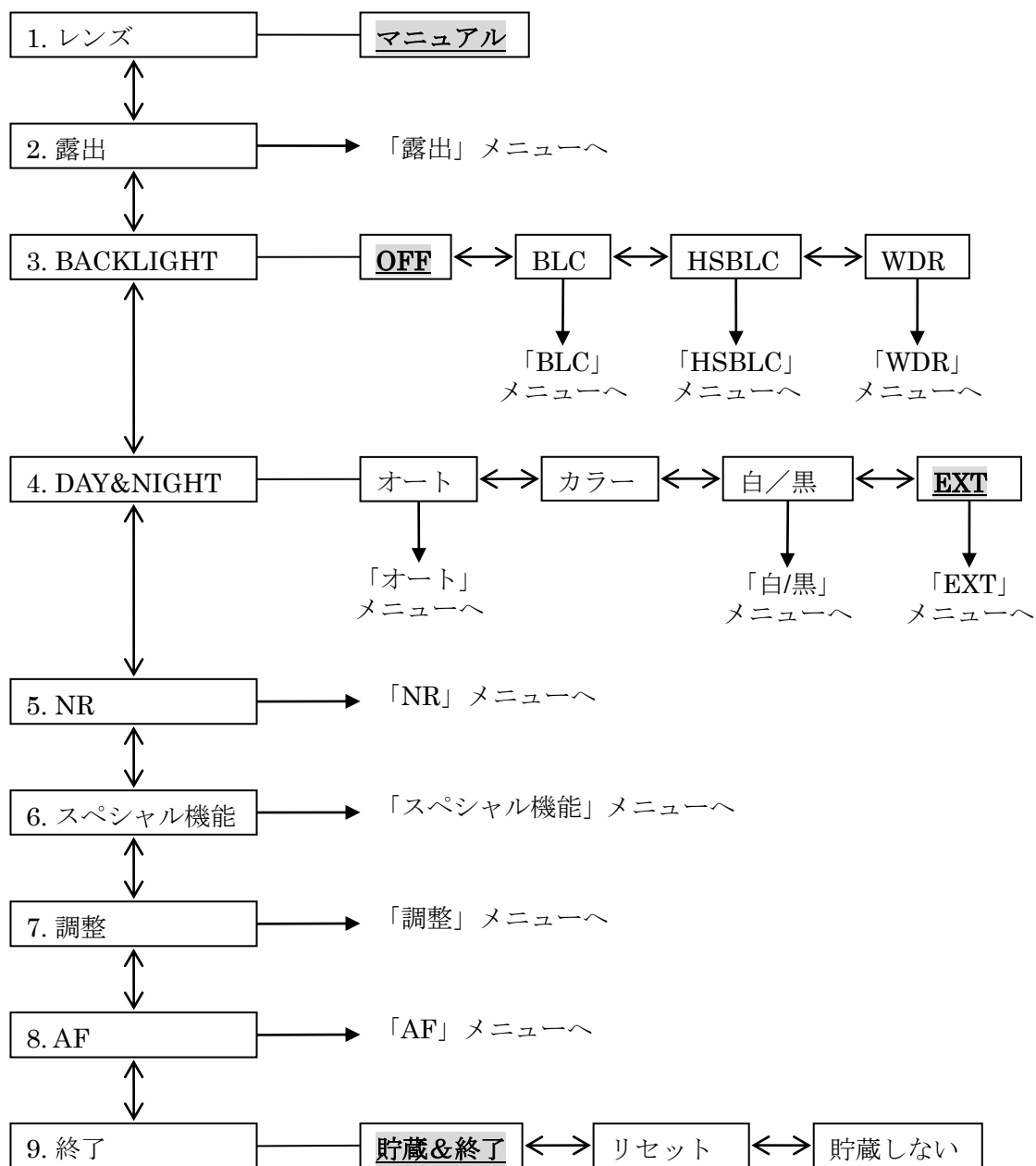
- ネットワーク経由の UTC 制御は、通信事情により遅延が発生する場合があります。操作してから表示が変化するまでに時間がかかる場合は、1 回毎に表示の変化を確認しながらゆっくり操作してください。
- ネットワーク経由の UTC 制御は、通信事情により命令が到達しない場合があります。
- P2P 接続の場合、UTC 制御はご利用いただけません。



## 4. セットアップメニュー

### 4.1. メインメニュー

メニューが表示されていない状態で DVR のメニューから PTZ を起動しアイリス 開 ボタンをクリックします。メインメニューを終了するには、メインメニューで「貯蔵&終了」を選択します。

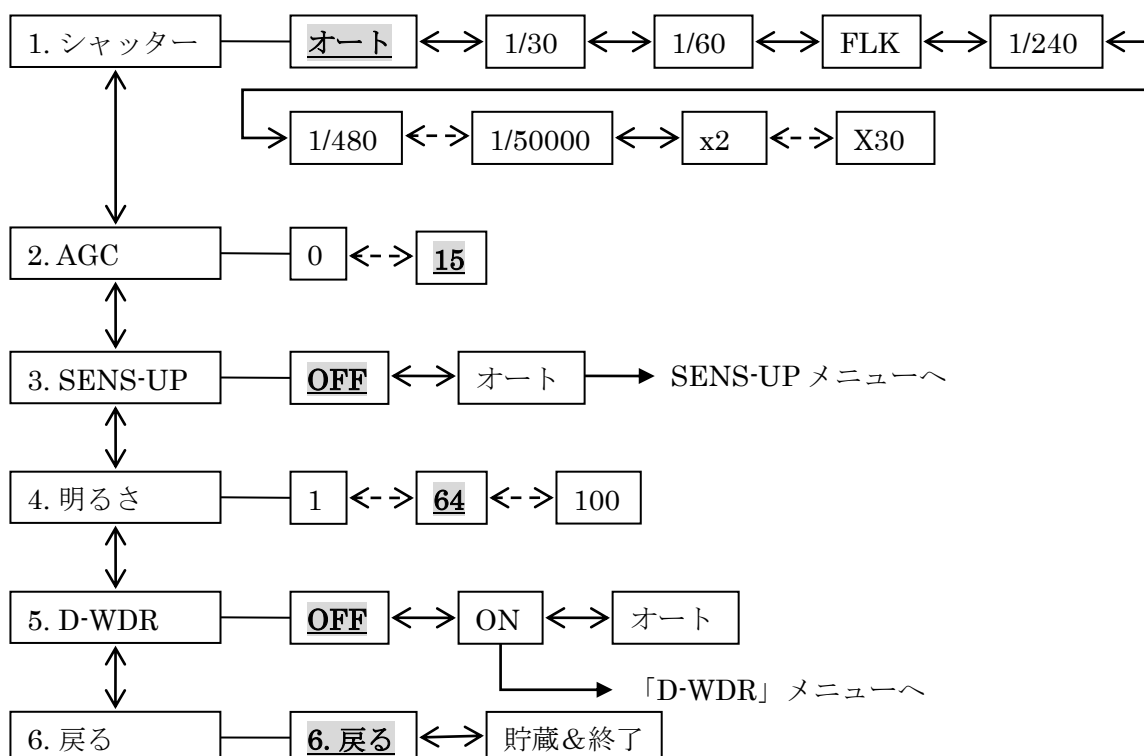


メインメニューの中には次表の項目があります。

項目	説明
レンズ	レンズタイプを選択する項目ですが、本機にはアイリスを持たないレンズを搭載してあるため「マニュアル」に固定されています。
露出	「露出」メニューに入ります。 <b>参照</b> →11 ページ
BACKLIGHT	逆光補正の種類を「 <b>OFF</b> 」「 <b>BLC</b> 」「 <b>HSBLC</b> 」「 <b>WDR</b> 」から選択出来ます。 <b>OFF</b> ：逆光補正機能を使用しません。 <b>B L C</b> ：逆光補正機能を使用して露出を補正します。 <b>アイリス開</b> の操作でサブメニューに入ります。 <b>参照</b> →13 ページ <b>HSBLC</b> ：逆光部分を黒くマスキングする機能を使用します。 <b>アイリス開</b> の操作でサブメニューに入ります。 <b>参照</b> →14 ページ <b>W D R</b> ：ワイドダイナミックレンジ機能は、異なるシャッタースピードで複数回露光した映像を合成する事で、通常の逆光補正では得られない高いダイナミックレンジを得る機能です。 <b>アイリス開</b> の操作でサブメニューに入ります。 <b>参照</b> →15 ページ
DAY&NIGHT	カラー撮影（赤外発光なし）と白黒撮影（赤外発光あり）を切り替える方法を選択します。 オート：撮像素子の露光の程度によってカラー撮影と白黒撮影を切り替えます。 <b>アイリス開</b> の操作でサブメニューに入ります。 <b>参照</b> →16 ページ カラー：常時カラーで撮影します。 白／黒：常時白黒で撮影します。 <b>アイリス開</b> の操作でサブメニューに入ります。 <b>参照</b> →17 ページ <b>EXT</b> ：カメラレンズとは別に取り付けられた光センサーによって周囲の明るさを検知してカラー撮影と白黒撮影を切り替えます。 <b>アイリス開</b> の操作でサブメニューに入ります。 <b>参照</b> →17 ページ
NR	<b>アイリス開</b> の操作でノイズリダクション（ノイズ低減機能）のサブメニューに入ります。 <b>参照</b> →18 ページ
スペシャル機能	<b>アイリス開</b> の操作で「スペシャル機能」のサブメニューに入ります。 <b>参照</b> →18 ページ
調整	<b>アイリス開</b> の操作で画像調整のサブメニューに入ります。 <b>参照</b> →23 ページ
AF	<b>アイリス開</b> の操作でオートフォーカス機能のサブメニューに入ります。 <b>参照</b> →25 ページ
終了	<b>アイリス開</b> の操作でメニューを終了します。 ここでは次の3つのオプションがあります。 <b>貯蔵&amp;終了</b> ：設定変更を保存してメニューを終了します。 リセット：設定を初期化してメニューに戻ります。 貯蔵しない：設定変更を保存せずにメニューを終了します。

### 4.1.1. 露出（メインメニュー⇒露出）

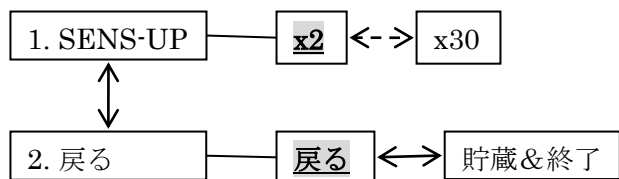
「露出」メニューでは、周囲の明るさの変化に対するカメラの応答に関する設定をします。



項目	説明
シャッター	シャッタースピードを 1/50000 秒～x30（1 秒）の範囲で変更します。初期値は <b>オート</b> です。
AGC	自動利得制御の最大利得を 0～ <b>15</b> の範囲で設定します。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>&lt; 注 意 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「DAY&amp;NIGHT」を「オート」に設定している場合、AGC の値を 0 に設定する事は出来ません。</li> </ul> </div>
SENS-UP	感度アップ機能の設定をします。 <b>OFF</b> ：感度アップ機能を使用しません。 オート：感度アップ機能を使用します。 <b>アイリス開</b> の操作で SNS-UP 機能のサブメニューに入ります。 <div style="text-align: right;"><b>参照</b>→12 ページ</div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>&lt; 注 意 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「SENS-UP」機能はシャッタースピードを遅く制御する事によって感度を上げる機能ですので、結果的に映像のフレームレートが低下します。</li> </ul> </div>
明るさ	出力の明るさを 1～ <b>64</b> ～100 の範囲で調整します。
D-WDR	D-WDR 機能は、ダイナミックレンジを圧縮する事によって撮影映像の暗い部分から明るい部分まで鮮明に見えるようにします。 <b>OFF</b> ：D-WDR 機能を使用しません。 <b>ON</b> ：D-WDR 機能を使用します。 <b>アイリス開</b> の操作で D-WDR 機能のサブメニューに入ります。 オート：D-WDR 機能を使用し、効果の強さは自動的に調整されます。 <div style="text-align: right;"><b>参照</b>→12 ページ</div>
戻る	<b>戻る</b> ：メインメニューに戻ります。 <b>貯蔵&amp;終了</b> ：設定を保存してメニューを終了します。

4.1.1.1. SENS-UP (メインメニュー⇒露出⇒SENS-UP)

SENS-UP メニューでは、感度アップ機能の設定をします。



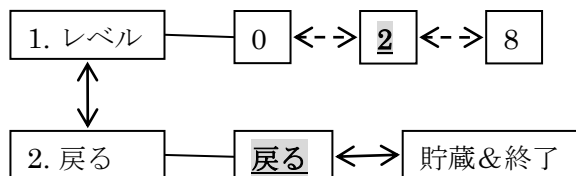
項目	説明
SENS-UP	感度アップ機能の最大倍率を <b>x2</b> ～x30 の範囲で設定します。
戻る	<b>戻</b> <b>る</b> : 「露出」メニューに戻ります。 貯蔵&終了 : 設定を保存してメニューを終了します。

< 注 意 >

- 「SENS-UP」機能はシャッタースピードを遅く制御する事によって感度を上げる機能ですので、結果的に映像のフレームレートが低下します。

4.1.1.2. D-WDR (メインメニュー⇒露出⇒D-WDR)

D-WDR 機能は、ダイナミックレンジを圧縮する事によって撮影映像の暗い部分から明るい部分まで鮮明に見えるようにします。



項目	説明
レベル	D-WDR 機能の効果の強さを 0～ <b>2</b> ～8 の範囲で設定します。
戻る	<b>戻</b> <b>る</b> : 「露出」メニューに戻ります。 貯蔵&終了 : 設定を保存してメニューを終了します。

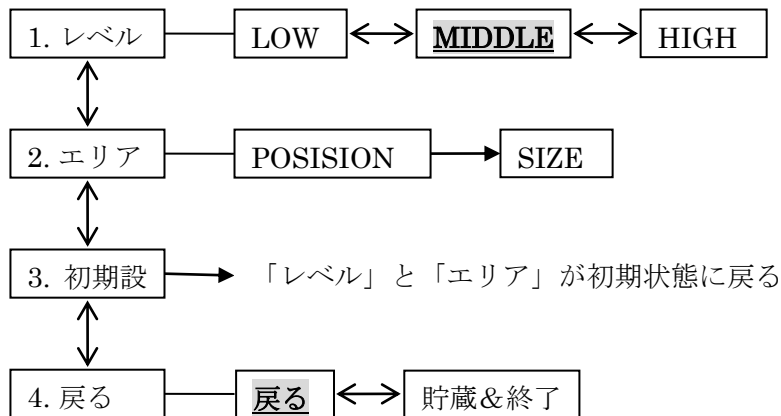
#### 4.1.2. BACKLIGHT (メインメニュー ⇒ BACKLIGHT)

BACKLIGHT メニュー内には、逆光補正に関する次のサブメニューがあります。

##### 4.1.2.1. BLC (メインメニュー ⇒ BACKLIGHT ⇒ BLC)

BLC 機能は露出制御のための測光エリアを指定する事で逆光時に画面が暗くなることを防ぎます。

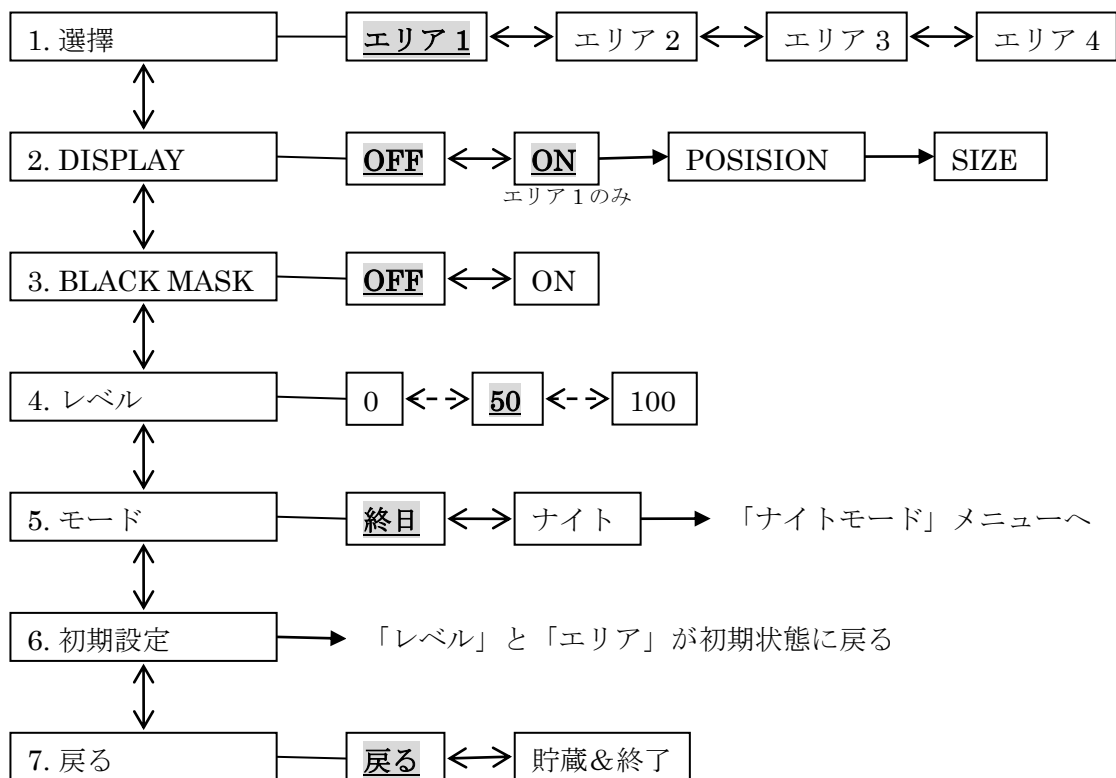
測光エリアは光源を避けて設定します。



項目	説明
レベル	逆光補正の効果の強さを 3 段階で設定します。
エリア	露出調整の測光エリアを設定します。 <b>POSITION</b> ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで測光エリアの位置を調整し <b>アイリス開</b> で「SIZE」設定に進みます。 <b>SIZE</b> ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで測光エリアの幅と高さを調整し <b>アイリス開</b> で次に進みます。 最後に「RET」と「AGAIN」が表示されますので ◀ ▶ ボタンでどちらかを選んで <b>アイリス開</b> で次に進みます。 R E T : POSITION 調整に戻ります。 A G A I N : エリア調整を終了して BLC メニューに戻ります。
初期設定	<b>アイリス開</b> ボタンでレベルとエリアの調整を初期状態に戻します。
戻る	<b>戻</b> <b>る</b> : 「BACKLIGHT」メニューに戻ります。 貯蔵&終了 : 設定を保存してメニューを終了します。

### 4.1.2.2. HSBLC (メインメニュー⇒ BACKLIGHT ⇒ HSBLC)

HSBLC 機能は最大 4 箇所までの長方形のエリアを指定して、その範囲内の逆光部分を黒く塗りつぶす事で逆光のある映像を見やすくします。

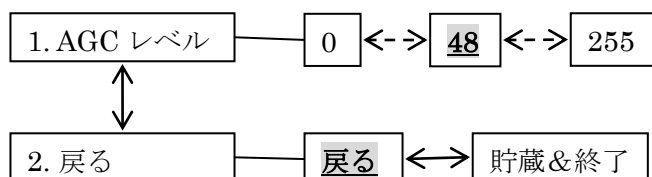


項目	説明
選択	設定を変更するエリアを選択します。
DISPLAY	選択したエリアの HSBLC 機能の有効/無効及びエリアの調整をします。 OFF : HSBLC 機能を無効にします。 ON : HSBLC 機能を有効にします。また アイリス開 でエリアの位置とサイズを調整します。 <b>POSITION</b> ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンでエリアの位置を調整し アイリス開 で「SIZE」設定に進みます。 <b>SIZE</b> ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンでエリアの幅と高さを調整し アイリス開 で次に進みます。 最後に「RET」と「AGAIN」が表示されますので ◀ ▶ ボタンでどちらかを選んで アイリス開 で次に進みます。 R E T : POSITION 調整に戻ります。 A G A I N : エリア調整を終了して HSBLC メニューに戻ります。
BLACK MASK	選択したエリアのマスキングの有効/無効を切り替えます。 OFF : マスキングを無効にします。 ON : マスキングを有効にします。
レベル	マスキングを適用する閾値となるレベルを 0~50~100 の範囲で指定し、設定された閾値より明るい部分をマスキングします。従って数値が小さい方がマスキングされる明るさの範囲はより広くなります。

モード	<p>HSBLC 機能の動作モードを選択します。          終 日：常時 HSBLC 機能を適用します。          ナイト：周囲の明るさが暗い場合だけ HSBLC 機能を適用します。また <b>アイリス開</b> ボタンで「ナイトモード」メニューに入ります。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0f0ff; padding: 5px; text-align: center;"> <p>&lt; 情 報 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● HSBLC のナイトモード機能はデイ&amp;ナイト機能とは独立して動作します。</li> </ul> </div>
初期設定	<b>アイリス開</b> ボタンで HSBLC 機能の設定を初期状態に戻します。
戻る	<b>戻 る</b> ：「露出」メニューに戻ります。 貯蔵&終了：設定を保存してメニューを終了します。

#### 4.1.2.2.1. ナイトモード（メインメニュー ⇒ BACKLIGHT ⇒ HSBLC ⇒ ナイトモード）

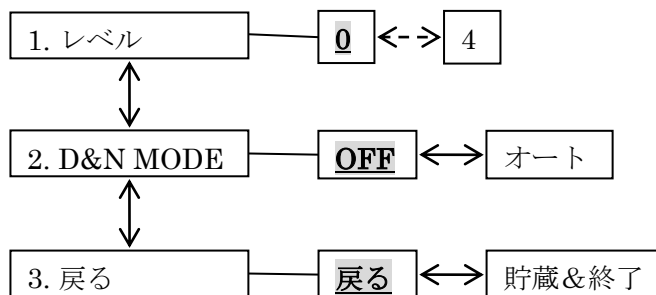
HSBLC 機能のナイトモードに関する設定をします。



項目	説明
AGC レベル	マスキング適用の可否を決める周囲の明るさの閾値を決定します。この値は数値が小さくなるほど閾値は明るくなり、数値が大きくなるほど閾値は暗くなります。
戻る	<b>戻 る</b> ：「HSBLC」メニューに戻ります。 貯蔵&終了：設定を保存してメニューを終了します。

#### 4.1.2.3. WDR（メインメニュー ⇒ BACKLIGHT ⇒ WDR）

ワイドダイナミックレンジ機能は、異なるシャッタースピードで複数回露光した映像を合成する事で、通常の逆光補正では得られない高いダイナミックレンジを得る機能です。

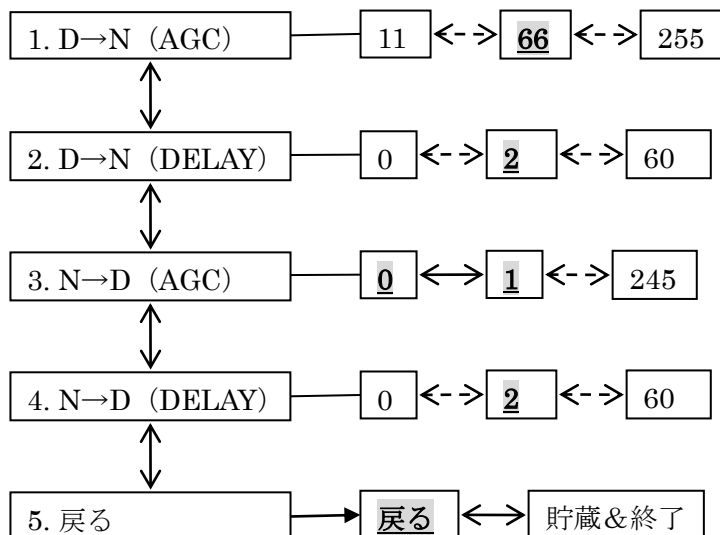


項目	説明
レベル	動作レベルを <b>0</b> ～ 4 の範囲で調整します。値が小さい場合は明るい部分の白飛びを防ぐように動作し、値が大きい場合は黒潰れを減らすように動作します。
D&N MODE	< 予定機能 >
戻る	<b>戻 る</b> ：メインメニューに戻ります。 貯蔵&終了：設定を保存してメニューを終了します。

4.1.3. DAY&NIGHT (メインメニュー ⇒ DAY&NIGHT)

4.1.3.1. オート (メインメニュー ⇒ DAY&NIGHT ⇒ オート)

DAY&NIGHT がオートの場合、露出制御用の自動利得制御 (AGC) 電圧をカラー撮影と白黒撮影を切り替えるために使用します。ただし、ここで設定する値は AGC 電圧に比例した数値であり、物理量ではありません。

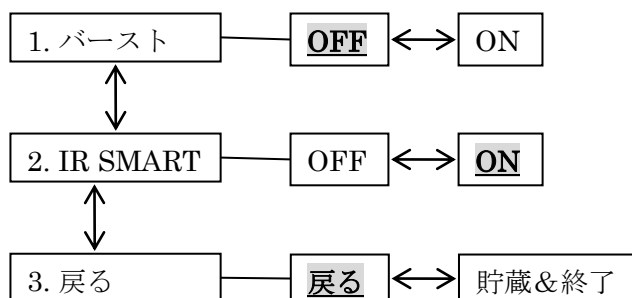


項目	説明
D→N (AGC)	デイモードからナイトモードに切り替わる場合の閾値を 11～255 の範囲で設定します。初期値： <u>66</u> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>&lt; 注 意 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「N→D (AGC)」の値に 10 を足した値より低い値を設定する事は出来ません。</li> </ul> </div>
D→N (DELAY)	デイモードからナイトモードに切り替わる場合の待ち時間を 0 ～ <u>2</u> ～ 60 [秒]の範囲で指定します。
N→D (AGC)	ナイトモードからデイモードに切り替わる場合の閾値を 0 ～ 245 の範囲で設定します。初期値： <u>0</u> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>&lt; 注 意 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「D→N (AGC)」の値から 10 を引いた値より高い値を設定する事は出来ません。また、初期値は <u>0</u> ですが、一度設定を変更すると 1 までしか下げる事が出来なくなります。</li> </ul> </div>
N→D (DELAY)	ナイトモードからデイモードに切り替わる場合の待ち時間を 0 ～ <u>2</u> ～ 60 [秒]の範囲で指定します。
戻る	戻 <u>る</u> ：メインメニューに戻ります。 貯蔵&終了：設定を保存してメニューを終了します。



### 4.1.3.2. 白/黒 (メインメニュー⇒DAY&NIGHT⇒白/黒)

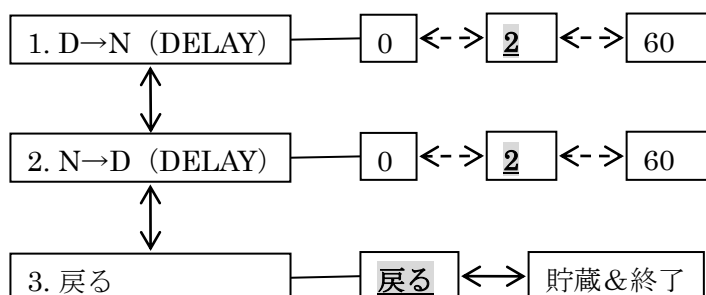
白黒モード時のカメラの状態を設定します。



項目	説明
バースト	<p>白黒出力時にカラーバースト信号を出力するか出力しないかを切り替えます。  <b>OFF</b>：白黒出力時にカラーバースト信号を出力しません。(初期値)  <b>ON</b>：白黒出力時にカラーバースト信号を出力します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">&lt; 情報 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この設定は初期設定では“OFF”ですが、ナイトモード撮影時にチャンネル間アイソレーション不良による強い色ノイズが発生する場合には“ON”に設定する事によって、色ノイズの発生を回避または軽減出来る場合があります。</li> <li>● この設定は DAY&amp;NIGHT が AUTO または EXT の状態で、ナイトモードの白黒表示の状態にも適用されます。</li> </ul> </div>
IR SMART	< 予定機能 >
戻る	<p><b>戻</b> <b>る</b>：メインメニューに戻ります。            貯蔵&amp;終了：設定を保存してメニューを終了します。</p>

### 4.1.3.3. EXT (メインメニュー⇒DAY&NIGHT⇒EXT)

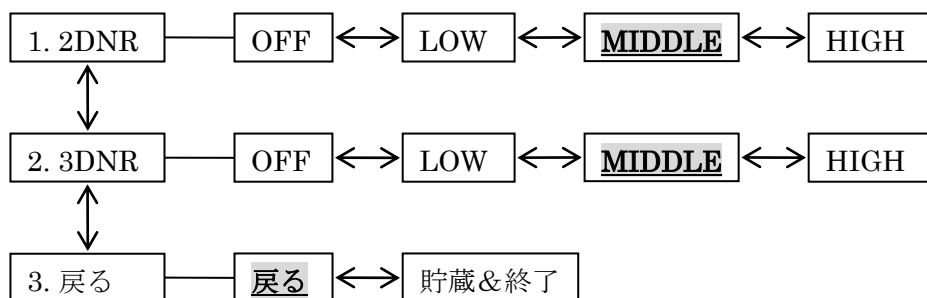
DAY&NIGHTのEXTモードでは、カメラレンズとは別に取り付けられた光センサーによって周囲の明るさを検知してカラー撮影と白黒撮影を切り替えます。



項目	説明
D→N (DELAY)	デイモードからナイトモードに切り替わる場合の待ち時間を 0 ～ <b>2</b> ～ 60 [秒]の範囲で指定します。
N→D (DELAY)	ナイトモードからデイモードに切り替わる場合の待ち時間を 0 ～ <b>2</b> ～ 60 [秒]の範囲で指定します。
戻る	<p><b>戻</b> <b>る</b>：メインメニューに戻ります。            貯蔵&amp;終了：設定を保存してメニューを終了します。</p>

#### 4.1.4. NR (メインメニュー ⇒ NR)

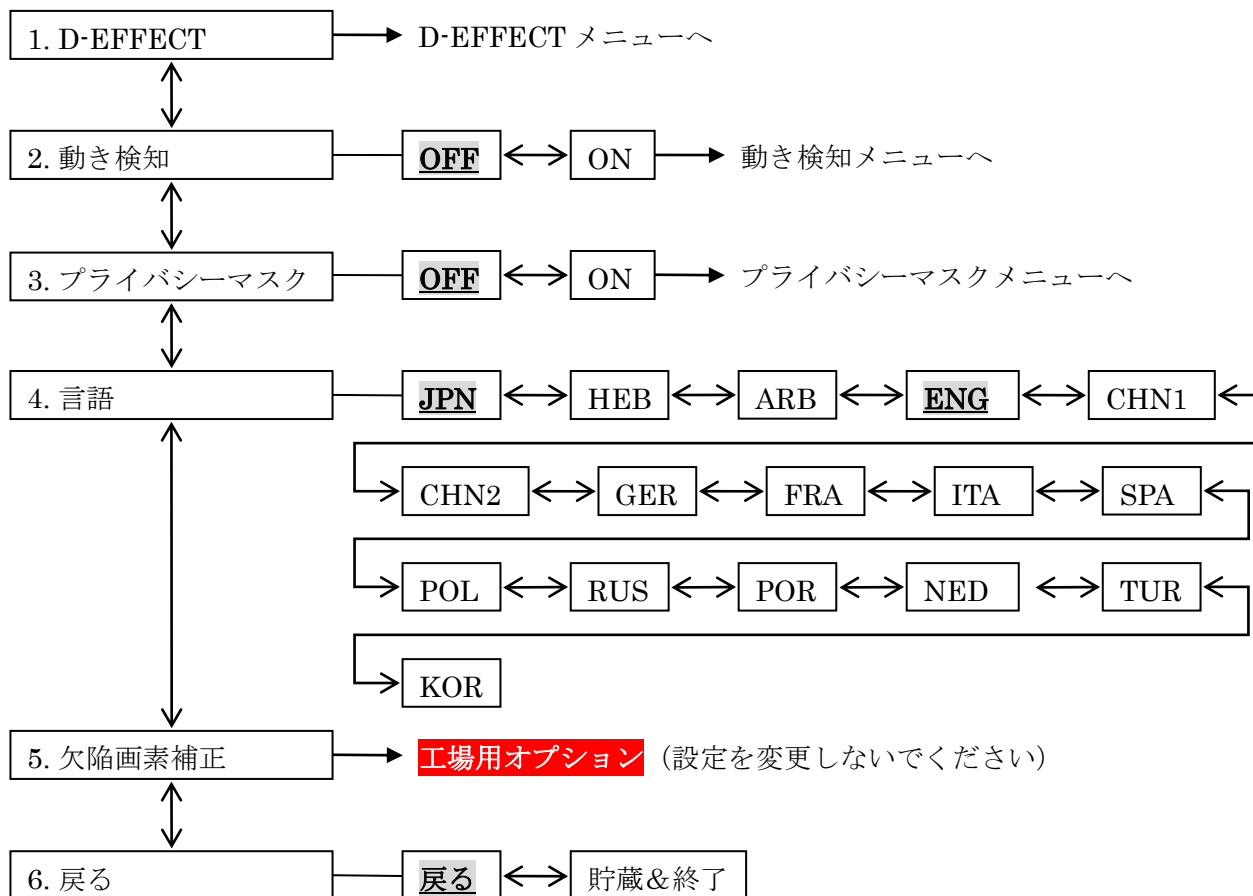
NR (ノイズリダクション) メニューでは、ノイズ低減機能に関する設定をします。



項目	説明
2DNR	画素間の相関性を利用して映像のノイズを低減します。効果の強さを OFF, LOW, <b>MIDDLE</b> , HIGH から選択します。2DNR では強くするとノイズは低減出来ませんが、コンクリートのようなどらつきのある被写体の質感が失われる傾向があります。
3DNR	フレーム (コマ) 間の相関性を利用して映像のノイズを低減します。効果の強さを OFF, LOW, <b>MIDDLE</b> , HIGH から選択します。3DNR では強くするとノイズは低減出来ませんが、動きのある被写体が流れるように見えてしまう傾向があります。
戻る	<b>戻る</b> : メインメニューに戻ります。 貯蔵&終了 : 設定を保存してメニューを終了します。

#### 4.1.5. スペシャル機能 (メインメニュー ⇒ スペシャル機能)

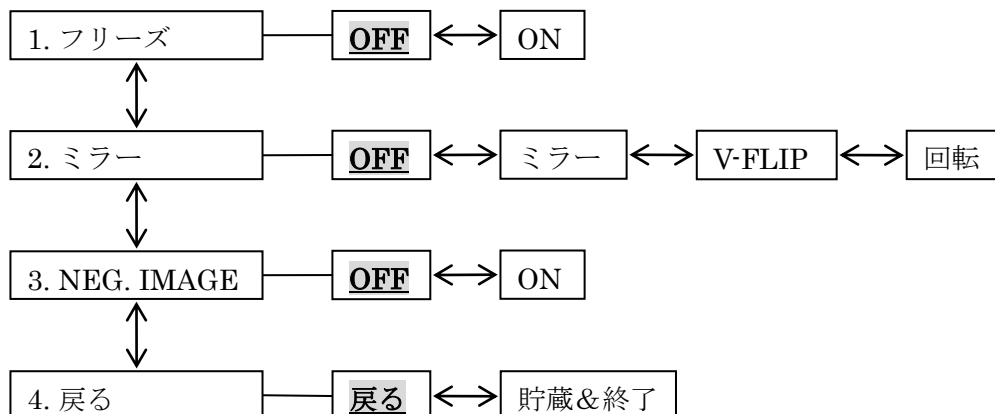
スペシャル機能では特殊機能に関する設定をします。



項目	説明																																										
D-EFFECT	「D-EFFECT」サブメニューに入り、特殊効果に関する設定をします。 参照→19 ページ																																										
動き検知	「動き検知」では動態検知機能のオン/オフ及びその設定をします。 OFF：動態検知機能を使用しません。 ON：動態検知機能を使用します。また アイリス開 で「動き検知」サブメニューに入り、その詳細を設定します。 参照→20 ページ																																										
プライバシーマスク	「プライバシーマスク」ではプライバシーマスク機能のオン/オフ及びその設定をします。 OFF：プライバシーマスク機能を使用しません。 ON：プライバシーマスク機能を使用します。また アイリス開 で「プライバシーマスク」サブメニューに入り、その詳細を設定します。 参照→22 ページ																																										
言語	本機のメニュー表示の言語を以下の 16 種類から選択します。 初期値：弊社出荷時⇒日本語 工場出荷時⇒英語 選択可能な言語は次表の通りです。																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>表記</th> <th>言語名称</th> <th>表記</th> <th>言語名称</th> <th>表記</th> <th>言語名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JPN</td> <td>日本語</td> <td>GER</td> <td>ドイツ語</td> <td>POR</td> <td>ポルトガル語</td> </tr> <tr> <td>HEB</td> <td>ヘブライ語</td> <td>FRA</td> <td>フランス語</td> <td>NED</td> <td>オランダ語</td> </tr> <tr> <td>ARB</td> <td>アラビア語</td> <td>ITA</td> <td>イタリア語</td> <td>TUR</td> <td>トルコ語</td> </tr> <tr> <td>ENG</td> <td>英語</td> <td>SPA</td> <td>スペイン語</td> <td>KOR</td> <td>韓国語</td> </tr> <tr> <td>CHN1</td> <td>簡体中国語</td> <td>POL</td> <td>ポーランド語</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>CHN2</td> <td>繁体中国語</td> <td>RUS</td> <td>ロシア語</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	表記	言語名称	表記	言語名称	表記	言語名称	JPN	日本語	GER	ドイツ語	POR	ポルトガル語	HEB	ヘブライ語	FRA	フランス語	NED	オランダ語	ARB	アラビア語	ITA	イタリア語	TUR	トルコ語	ENG	英語	SPA	スペイン語	KOR	韓国語	CHN1	簡体中国語	POL	ポーランド語			CHN2	繁体中国語	RUS	ロシア語		
表記	言語名称	表記	言語名称	表記	言語名称																																						
JPN	日本語	GER	ドイツ語	POR	ポルトガル語																																						
HEB	ヘブライ語	FRA	フランス語	NED	オランダ語																																						
ARB	アラビア語	ITA	イタリア語	TUR	トルコ語																																						
ENG	英語	SPA	スペイン語	KOR	韓国語																																						
CHN1	簡体中国語	POL	ポーランド語																																								
CHN2	繁体中国語	RUS	ロシア語																																								
欠陥画素補正	工場用オプション (設定を変更しないでください)																																										
戻る	戻る：メインメニューに戻ります。 貯蔵&終了：設定を保存してメニューを終了します。																																										

#### 4.1.5.1. D-EFFECT (メインメニュー⇒スペシャル機能⇒D-EFFECT)

「D-EFFECT」メニューでは、特殊効果に関する設定をします。

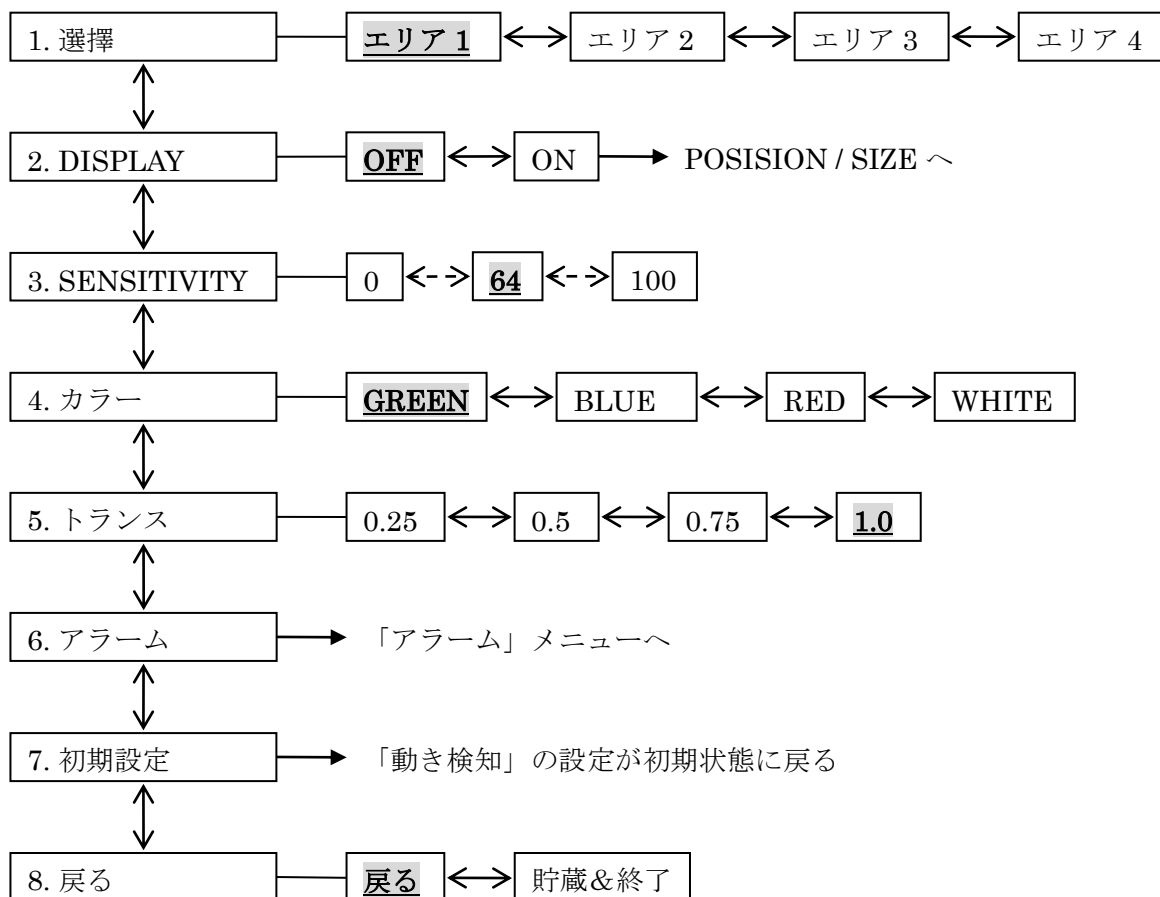


項目	説明
フリーズ	撮影中の映像を静止させます。 OFF：撮影中の映像を静止させません。 ON：撮影中の映像を静止させます。
ミラー	映像の上下左右を反転します。 OFF：映像を反転しません。 ミラー：映像の左右を反転します。 V-FLIP：映像の上下を反転します。 回転：映像の上下左右を反転します。

NEG IMAGE	映像の明るさと色を反転します。 <b>OFF</b> ：映像の明るさと色を反転しません。 ON：映像の明るさと色を反転します。
戻る	<b>戻る</b> ：「スペシャル機能」メニューに戻ります。 貯蔵&終了：設定を保存してメニューを終了します。

#### 4.1.5.2. 動き検知（メインメニュー⇒スペシャル機能⇒動き検知）

本機の「動き検知」メニューでは最大4箇所の検知エリアを設定して、そのエリア内の動く被写体を検知し表示します。



項目	説明
選択	設定を変更する検知エリアを1～4で選択します。
DISPLAY	「選択」で選択中の検知エリアを使用するか使用しないかを決定します。 OFF：現在選択中の検知エリアを使用しません。 ON：現在選択中の検知エリアを使用します。また「アイリス開」で検知エリアの位置と大きさを変更するための「POSITION」と「SIZE」画面に入ります。 <a href="#">参照→21ページ</a>
SENSITIVITY	全ての検知エリアの感度を0～64～100の範囲で調整します。
カラー	選択中の検知エリアでエリアを示す枠の色をGREEN(緑)、BLUE(青)、RED(赤)、WHITE(白)から選択します。
トランス	<予定機能> 設定は変更しないでください。
アラーム	「アイリス開」の操作で「アラーム」メニューに入ります。 <a href="#">参照→21ページ</a>
初期設定	動き検知関連の設定を全て工場出荷状態に戻します。
戻る	<b>戻る</b> ：「スペシャル機能」メニューに戻ります。 貯蔵&終了：設定を保存してメニューを終了します。

#### 4.1.5.2.1. POSISION / SIZE (メインメニュー ⇒ スペシャル機能 ⇒ 動き検知 ⇒ ON ⇒ DISPLAY ⇒)

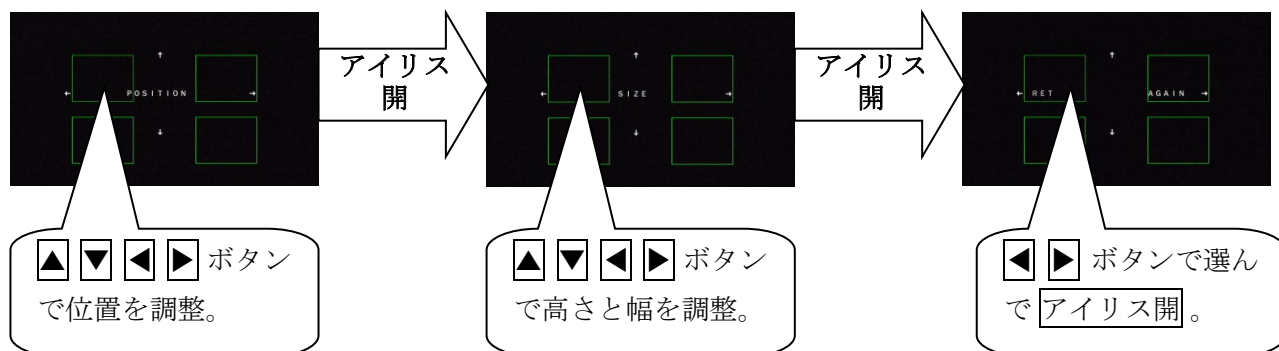
選択中のエリアの位置と大きさを変更します。

最初に「POSISION」(位置)を ボタンで調整し **アイリス開** ボタンで次の「SIZE」に進みます。

次の「SIZE」(大きさ)では で上下の高さを で左右の幅を調整し **アイリス開** ボタンで「RET」と「AGAIN」の選択に進みます。

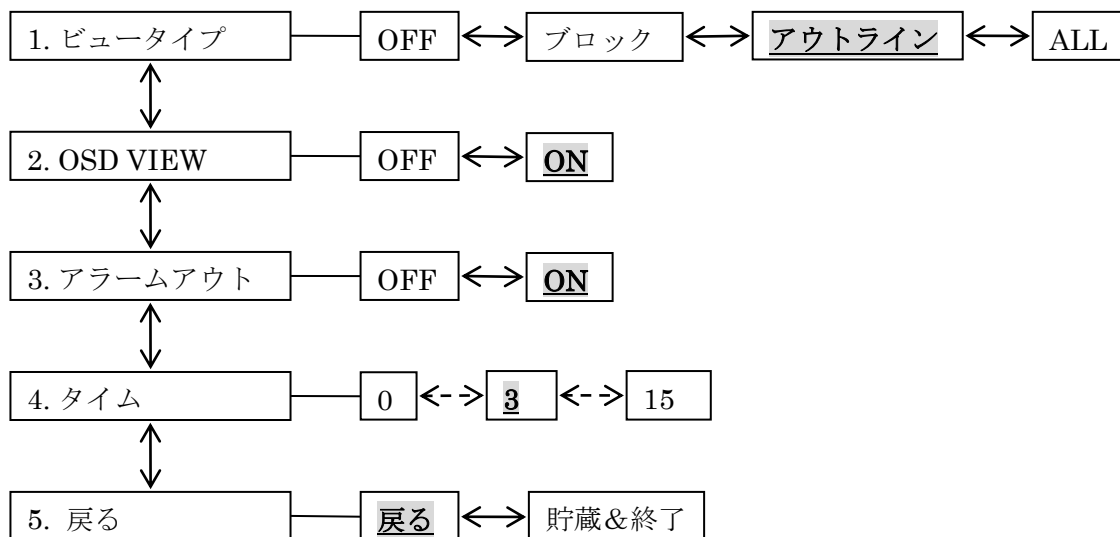
「RET」を選択した場合 ⇒ 「動き検知」メニューに戻ります。

「AGAIN」を選択した場合 ⇒ もう一度「POSISION」調整に進みます。



#### 4.1.5.2.2. アラーム (メインメニュー ⇒ スペシャル機能 ⇒ 動き検知 ⇒ アラーム)

動き検知の結果の出力に関する設定をします。

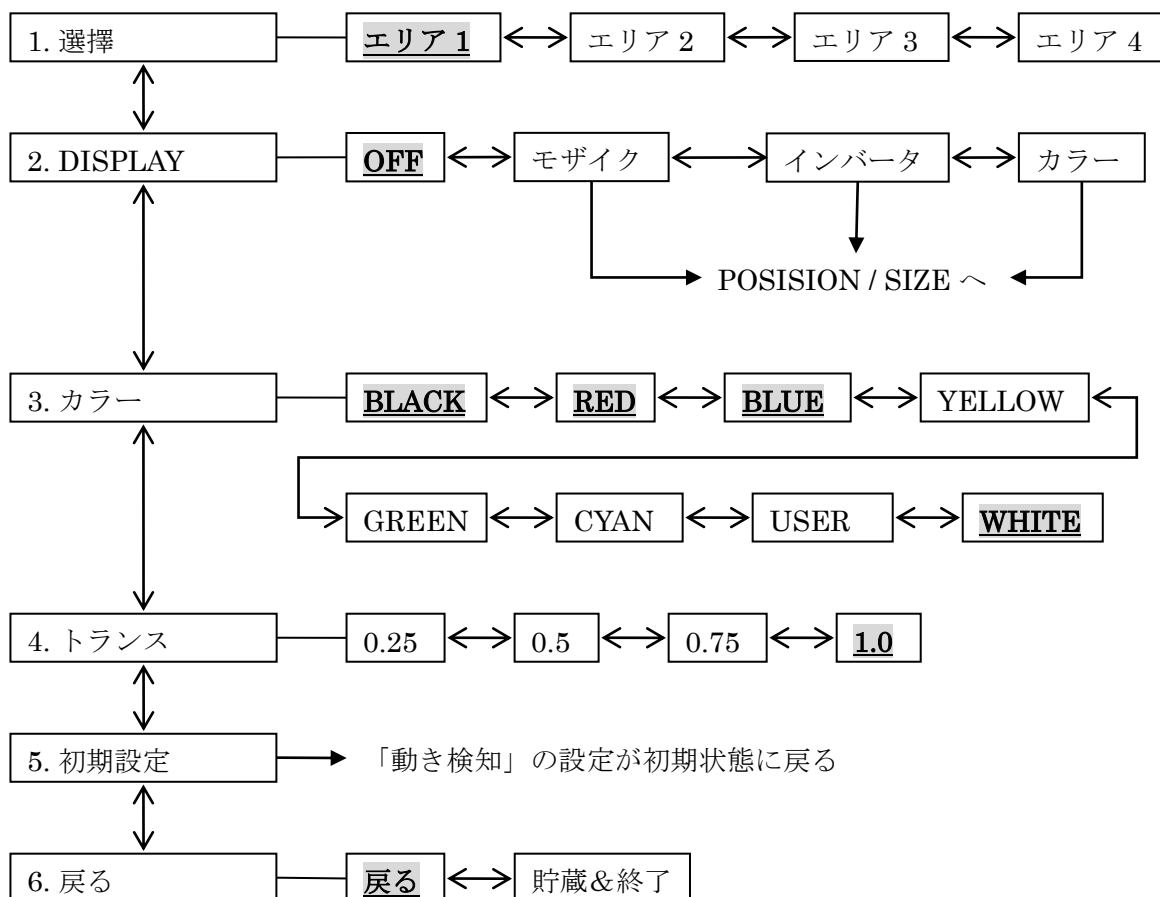


項目	説明
ビュータイプ	動きを検知した場合のグラフィック表示の方法を選択します。 <b>OFF</b> : グラフィック表示をしません。 <b>ブ ロ ッ ク</b> : 動いている被写体の部分をモザイクで示します。 <b>アウトライン</b> : 検知エリア枠を表示して示します。 <b>A L L</b> : モザイクと検知エリア枠の両方で示します。
OSD VIEW	動きを検知した場合の「MOTION DETECTED」警告表示の有無を切り替えます。 <b>OFF</b> : 警告を表示しません。 <b>ON</b> : 警告を表示します。

アラームアウト	<b>&lt;利用不可&gt;</b> 本機は構造上アラーム出力を有していないので利用出来ません。
タイム	アウトラインと文字のよる「MOTION DETECT」警告を表示する時間を0～3～15[秒]の範囲で調整します。
戻る	<b>戻る</b> ：「動き検知」メニューに戻ります。 貯蔵&終了：設定を保存してメニューを終了します。

#### 4.1.5.3. プライバシーマスク (メインメニュー⇒スペシャル機能⇒プライバシーマスク)

プライバシーマスク機能は、最大8箇所までの長方形のエリアを指定し、それぞれのエリアを指定した方法でマスキングします。

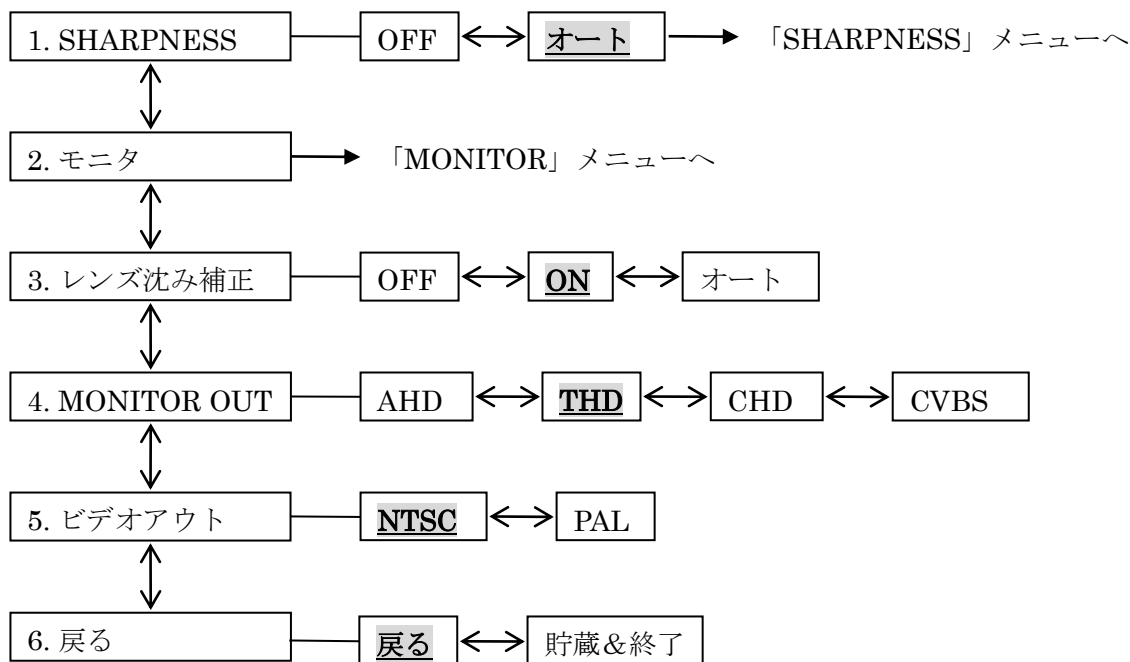


項目	説明
選択	設定を変更する検知エリアを1～4で選択します。
DISPLAY	「選択」で選択中のマスキングエリアを使用するか使用しないか及びマスキング方法を決定します。 <b>O F F</b> ：「選択」で選択したエリアをマスキングしません。 <b>モザイク</b> ：「選択」で選択したエリアにモザイク効果をかけます。 <b>インバータ</b> ：「選択」で選択したエリアの明るさと色を反転（ネガポジ反転）します。 <b>カラー</b> ：「選択」で選択したエリアを特定の色で塗り潰します。 なお「モザイク」「インバータ」「カラー」の場合には <b>アイリス開</b> で開くサブメニューでマスキングエリアを設定します。エリア設定の操作方法は動き検知の場合と同じです。 <span style="float: right;">参照→21 ページ</span>

カラー	<p>「選擇」で選択中のマスキングエリアの色を BLACK(黒)、RED(赤)、BLUE(青)、YELLOW(黄)、GREEN(緑)、CYAN(シアン)、USER(桃)、WHITE(白)から選択します。初期値はエリア毎に異なります。</p> <table border="1"> <tr> <th>エリア</th> <th>エリア 1</th> <th>エリア 2</th> <th>エリア 3</th> <th>エリア 4</th> </tr> <tr> <td>初期値</td> <td>RED</td> <td>BLUE</td> <td>WHITE</td> <td>BLACK</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">&lt; 注 意 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この項目は「DISPLAY」で「カラー」を選択した場合だけ利用可能です。</li> </ul>	エリア	エリア 1	エリア 2	エリア 3	エリア 4	初期値	RED	BLUE	WHITE	BLACK
エリア	エリア 1	エリア 2	エリア 3	エリア 4							
初期値	RED	BLUE	WHITE	BLACK							
トランス	<p>「選擇」で選択中のマスキングエリアの不透明度を 0、0.25、0.75、<b>1.00</b>から選択します。</p> <p style="text-align: center;">&lt; 注 意 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この項目は「DISPLAY」で「カラー」を選択した場合だけ利用可能です。</li> </ul>										
初期設定	プライバシーマスクの設定を全て工場出荷状態に戻します。										
戻る	<p><b>戻</b>る：「スペシャル機能」メニューに戻ります。</p> <p>貯蔵&amp;終了：設定を保存してメニューを終了します。</p>										

#### 4.1.6. 調整 (メインメニュー ⇒ 調整)

「調整」メニューでは映像の調整をします。

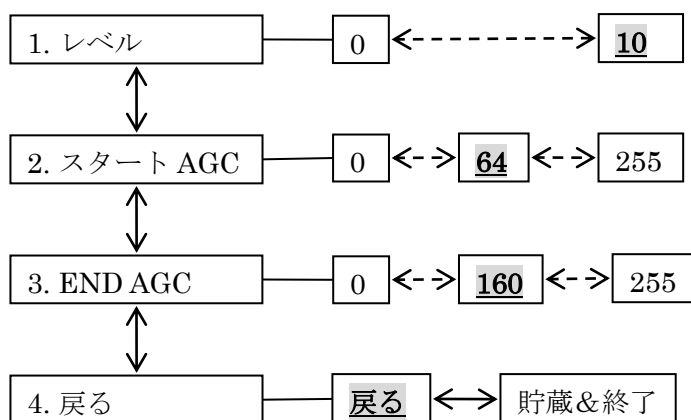


項目	説明
SHARPNESS	<p>輪郭補正の有無を切り換えます。</p> <p>OFF：輪郭補正機能が働きません。</p> <p>オート：輪郭補正機能が働きます。さらに <b>アイリス開</b> で「SHARPNESS」メニューに入ります。</p> <p style="text-align: right;">参照 → 24 ページ</p>
モニタ	<p>アイリス開 で「モニタ」メニューに入ります。</p> <p style="text-align: right;">参照 → 24 ページ</p>
レンズ沈み補正	<p><b>&lt;利用不可&gt;</b> 本機の構造上アイリスを有していないのでシェーディング補正機能は利用出来ません。</p>

MONITOR OUT	本機の映像出力のビデオフォーマットを次の4種類から選択します。 AHD : AHD 1080p の信号を出力します。 THD : TVI 1080p の信号を出力します。 CHD : CVI 1080p の信号を出力します。 CVBS : NTSC または PAL の信号を出力します。															
ビデオアウト	本機の映像出力のビデオモードは MONITOR OUT の設定値により次表のようになります。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>ビデオアウト</th> <th>AHD</th> <th>THD</th> <th>CHD</th> <th>CVBS</th> </tr> <tr> <td>NTSC</td> <td>AHD 30FPS</td> <td>TVI 30FPS</td> <td>CVI30FPS</td> <td>NTSC</td> </tr> <tr> <td>PAL</td> <td>AHD 25FPS</td> <td>TVI25FPS</td> <td>CVI25FPS</td> <td>PAL</td> </tr> </table>	ビデオアウト	AHD	THD	CHD	CVBS	NTSC	AHD 30FPS	TVI 30FPS	CVI30FPS	NTSC	PAL	AHD 25FPS	TVI25FPS	CVI25FPS	PAL
ビデオアウト	AHD	THD	CHD	CVBS												
NTSC	AHD 30FPS	TVI 30FPS	CVI30FPS	NTSC												
PAL	AHD 25FPS	TVI25FPS	CVI25FPS	PAL												
戻る	<b>戻る</b> : メインメニューに戻ります。 貯蔵&終了 : 設定を保存してメニューを終了します。															

#### 4.1.6.1. SHARPNESS (メインメニュー⇒調整⇒SHARPNESS)

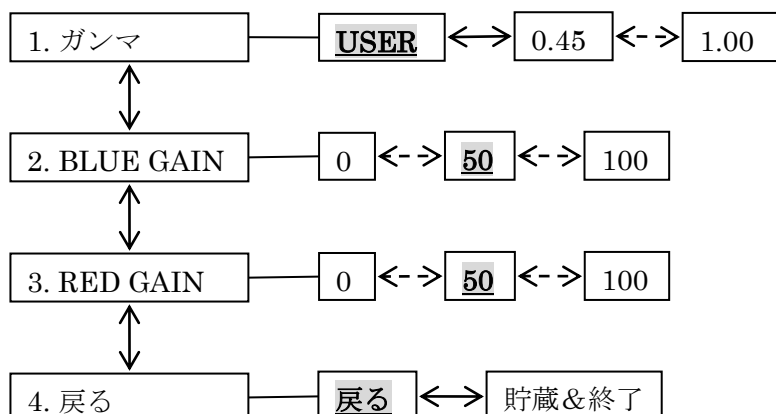
輪郭補正の調整をします。



項目	説明
レベル	シャープネスの効果の強さを 0 ~ 10 の範囲で調整します。
スタート AGC	被写体の明るさが暗い状態から徐々に明るくなった場合に、シャープネス効果を開始する AGC レベルを 0 ~ <b>64</b> ~ 255 の範囲で指定します。
END AGC	被写体の明るさが明るい状態から徐々に暗くなった場合に、シャープネス効果を停止する AGC レベルを 0 ~ <b>160</b> ~ 255 の範囲で指定します。
戻る	<b>戻る</b> : メインメニューに戻ります。 貯蔵&終了 : 設定を保存してメニューを終了します。

#### 4.1.6.2. MONITOR (メインメニュー⇒調整⇒モニタ)

モニタの特性に合わせた映像の調整をします。





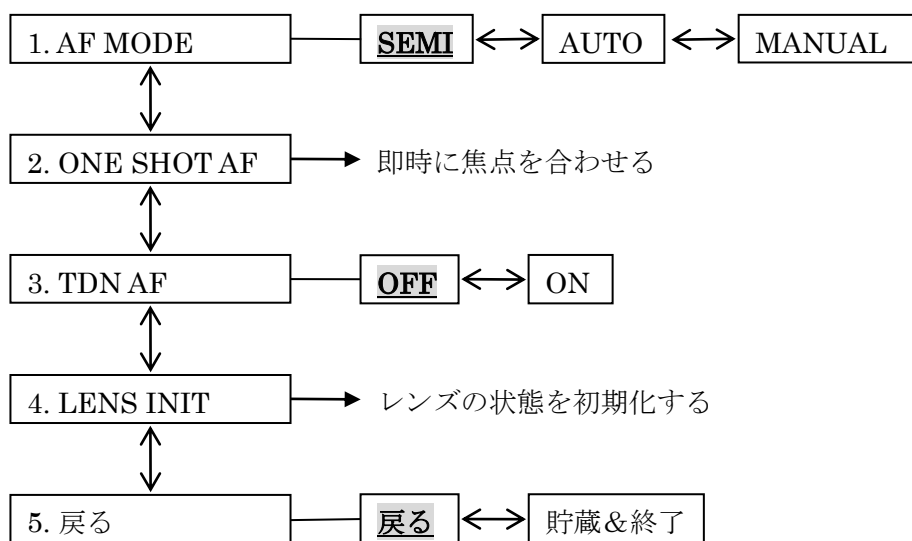
項目	説明
ガンマ	ガンマ補正値を設定します。 <b>U S E R</b> : メーカーが設定した独自の特性です。 0.45~1.00 : 0.45~1.00 の間を 0.05 刻みで調整します。
BLUE GAIN	B-Y 軸のレベル (色の濃さ) を 0 ~ <b>50</b> ~ 100 の範囲で調整します。
RED GAIN	R-Y 軸のレベル (色の濃さ) を 0 ~ <b>50</b> ~ 100 の範囲で調整します。
戻る	<b>戻</b> <b>る</b> : メインメニューに戻ります。 貯蔵&終了 : 設定を保存してメニューを終了します。

< 情 報 >

- 「BLUE GAIN」は主に青色や黄色の色の濃さを変化させます。
- 「RED GAIN」は主に赤色や緑色の色の濃さを変化させます。
- 「BLUE GAIN」と「RED GAIN」を両方同じ値に保つように変化させると、全体的な色の濃さを変化させる事が出来ます。(通常はこの使用法が一般的)
- 「BLUE GAIN」と「RED GAIN」を個別の値になるように変化させると、それぞれの色変調軸に一致しない色は色相が変化します。

#### 4.1.7. AF (メインメニュー ⇒ AF)

「AF」メニューでは、オートフォーカス (自動焦点) 機能に関する設定をします。



項目	説明
AF MODE	オートフォーカスの動作モードを選択します。 S E M I : ズームを操作した時等のタイミングでオートフォーカスが動作します A U T O : 常時オートフォーカスが動作します M A N U A L : オートフォーカスが動作しません。
ONE SHOT AF	アイリス開操作で即時にオートフォーカスが動作します。
<p>&lt; 注 意 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「AF MODE」が「MANUAL」の場合には動作しません。</li> </ul>	

TDN AF	カメラのデイモードとナイトモードが切り替わるタイミングでオートフォーカスを動作するかどうかを選択します。 OFF：デイモードとナイトモードが切り替わるタイミングでオートフォーカスを動作しません。 ON：デイモードとナイトモードが切り替わるタイミングでオートフォーカスを動作します。
LENS INIT	即時にレンズを初期化します。
戻る	<b>戻る</b> ：メインメニューに戻ります。 貯蔵&終了：設定を保存してメニューを終了します。

< 情報 >

- レンズの初期化とは実際のレンズのズームとフォーカスのレンズ位置と、オートフォーカスを制御するマイクロプロセッサが記憶するレンズ位置の情報を合わせる作業の事です。
- この情報は通常ズレる事はありませんが、稀に機械的な衝撃や電氣的なノイズ等によってズレる事があります。そのような場合にはフォーカスが合わない不具合を生じる事があります。
- **ズーム操作を実行した後にフォーカスが合わない場合は「LENS INIT」を実行してください。**

## 5. 仕様

型番		ICVD-T114-2M
システム	カメラタイプ	バンドルプルーフ・ドーム型・アナログカメラ
	センサー	1/2.8 インチ C-MOS センサー
	水平解像度	1000[TV 本]以上
	ビデオフォーマット	HD-TVI, AHD, HD-CVI, CVBS
	ビデオモード	NTSC, PAL
	垂直周波数[NTSC/PAL]	HD-TVI, AHD, HC-CVI, CVBS : 30/25 Hz CVBS : 60/30 Hz
	最低照度	カラー : 0.001 Lux (F1.2, AGC ON) 白黒 : 0Lux (IR 使用)
IR	IR 照射距離	約 20~30[m] (IR 撮影距離は 10m 以内推薦)
レンズ	レンズ	2.8 ~ 12mm モーター駆動式レンズ
	レンズマウント	D14
	画角	水平 : 87 ~ 32° , 垂直 : 47 ~ 19°
機能	デイ&ナイト	ICR 機能搭載
	シャッタースピード	オート, 30 ~ 1/50000 秒 (NTSC と PAL モードで選択肢が異なります。)
	WDR	○対応
	3D NR	○対応
	AGC	○対応
	BLC	○対応
	HLC	○対応
	ホワイトバランス	自動
	ミラー	○対応 (左右, 上下, 180° 回転)
	シャープネス	○対応
プライバシーマスク	○対応	
	S/N 比	52dB 以上 (AGC = 0 設定時)
	ブラケット可動範囲	左右 : 0° ~ 345° , 上下 : 0° ~ 77° , 回転 : 0° ~ 345°
	電源電圧	DC12V (±15%)
	消費電力	1.5W 未満 (IR OFF 時) , 5W 未満 (IR ON 時)
	動作環境	温度 : -30°C~50°C, 湿度 : 10%~90%
	防水・防塵, 耐衝撃性能	IP64, IK10
	寸法, 重量	直径 : 141mm φ (最大) , 高さ : 100.2mm (最大) , 重量 : 約 820g

輸入販売元

有限会社 インターラック

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3249-1

**TEL: 0985-55-0752**

**FAX: 0985-55-0815**

<http://www.interluck.co.jp>